

# 発災対応型防災訓練を実施！

○問合先 市役所交通防災課 交通・防災G 内線 138

〈主催〉守谷市 〈協力〉守谷の地域防災を考える会、守谷市消防団、守谷消防署・南守谷出張所

市では、東日本大震災や阪神・淡路大震災の教訓・実例を踏まえ、一部の地域において「発災対応型防災訓練」を実施します。

従来は、参加者が一堂に集まり、初期消火活動や応急救護訓練などを実施する「会場型防災訓練」でした。このような方法は、毎回変化が少なく、参加者も受動的に訓練を行いがちになるため、マンネリになりやすい欠点があります。

一方、昨年度から実施している「発災対応型防災訓練」は、シナリオのない現実的な初動対応訓練です。実際の災害時には、避難所や近くの一時避難場所（公園や自治会館等）に避難する間に、火災に遭遇し、消火活動を求められるかもしれません。また、道路がふさがれて先に進むことができなくなったり、近くで助けを求める人の声が聞こえてくるかもしれません。予測できない事態が次々に起こってくるのが「実際の災害」なのです。

「発災対応型防災訓練」は、各自の判断で行動しなければならないため、実際の災害に対して即時対応能力が養われるといった利点があります。過去の教訓から分かることは、被災直後に役立つものは「地域の絆」であり、地域で助け合う環境を整えていくことが重要であるということです。



▲昨年の訓練の様子

この訓練は、生活の場である自分たちの地域での災害を想定した訓練であり、地域住民の防災行動力の向上を図ることを目的としています。

今回の訓練は、事前に自治会長宛てに通知し、希望された自治会や自主防災組織で実施されます。

「自主防災組織などの取り組みを実施していない」「これから自主防災組織結成を考えている」自治会の方は、今後の地域防災力の向上につながりますので、ぜひ参観してください。参観を希望する地区の方は、交通防災課までご連絡ください。

▶実施日時 9月1日(日) 11:00～

▶実施地区 事前に実施を希望した自治会・自主防災組織

▶訓練想定 茨城県南部を震源とする直下地震が発生（震度7）

▶訓練内容 発災対応型防災訓練

※訓練内容は地域の状況によって多少異なる

【自治会・自主防災組織】

- ・地震発生～自分の身を守る（自助）
- ・近所への声かけ
- ・一時避難場所へ参集
- ・自治会の災害対策本部を開設
- ・自治会区域内の調査活動
- ・地域内負傷者救助、負傷者応急手当、初期消火
- ・被害状況の報告や市からの情報収集・伝達

【市・関係機関】

- ・市災害対策本部設置訓練
- ・消防団の受け持ちエリア内情報収集訓練

## シニア海外ボランティア協力隊

市内在住の方が7月から2年間、海外協力隊（JICAボランティア派遣事業）として海外へ赴任しました。永田清思さん（写真左）はブータンで国内の食品の安全管理に関する活動を、松見正孝さん（写真右）はフィジーで漁業経営の枠組み作りのための活動を行う予定です。お二人の任地での活躍を期待しています！



## ダブルダッチで世界一に!!

ダブルダッチのクラブチーム「☆皆跳☆」が、日本代表として6月にアメリカで開催された第40回ADDL世界選手権大会において優勝し、世界一に輝きました。



左から米谷樹さん（守谷小）、平久保健太さん（大野小）、寺田心優さん（高野小）